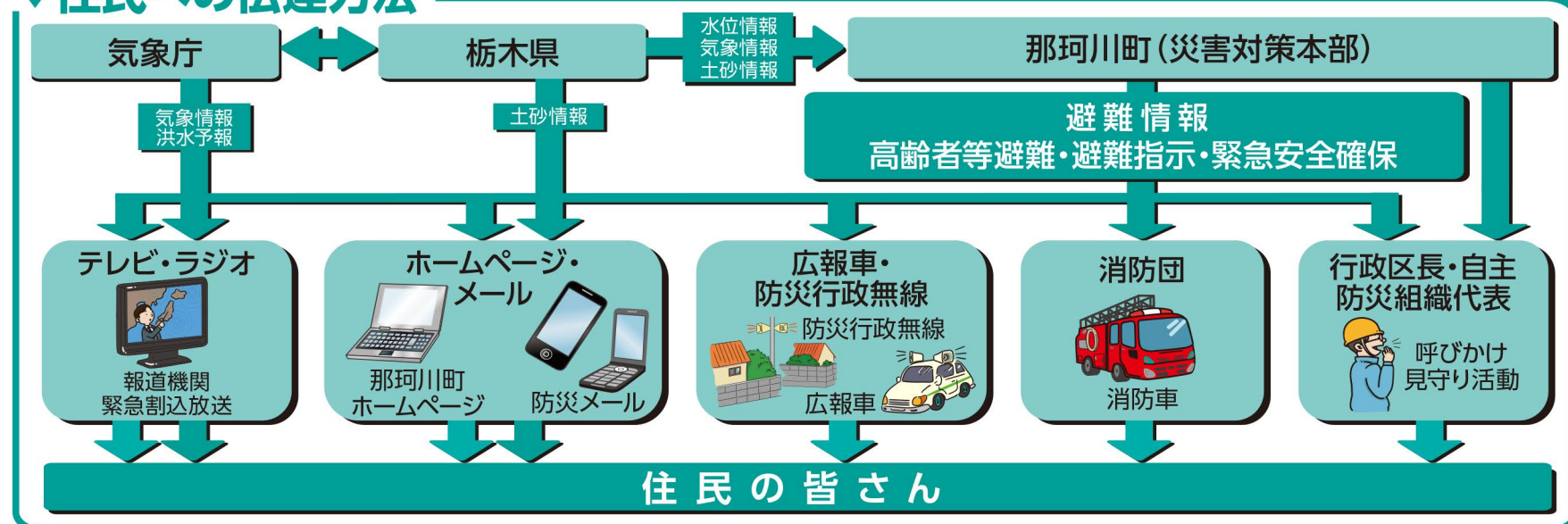


▼住民への伝達方法



▼データ放送アプリ「なかナビ」で災害対策をしましょう

ケーブルテレビでは、災害時の情報収集に便利なデータ放送アプリ「なかナビ」を提供しています。「なかナビ」では、町に発令されている大雨警報などの気象情報や避難指示などの避難情報、最寄りの避難所までの経路図など、災害対策に直結する情報をリアルタイムで配信しています。下記の二次元コードからダウンロードできますので、災害の備えとしてぜひ活用してください。

①アプリ「JC-Smart」をインストール

iPhone 版は「App Store」、Android 版は「Play ストア」で「JC-Smart」を検索し、インストールしてください。下記の二次元コードからでも読み込むことができます。



②インストール後、サービス選択で「なかナビ」を選ぶ



③見たい情報の選択(ここでは「避難所検索」をタップ)



▼避難所の開設・混雑情報が確認できます

町が避難所を開設した際に、株式会社バカンが運営するリアルタイム空き情報配信プラットフォーム「VACAN(バカン)」により、避難所の位置や開設および混雑状況をパソコンやスマートフォンから確認できます。混雑状況が、リアルタイムに確認できることでコロナ禍での避難所における3密を回避できるとともに、安全な場所への分散避難にもつながります。下記 URL にアクセスするか、二次元コードを読み込むことで「VACAN(バカン)」を利用することができます。

▼パソコンの方はこちらから <https://vacan.com/area/nakagawa-town-evacuation/evacuation-center/11>
▼スマートフォンの方はこちらから



◆情報を集めましょう◆

▼テレビ

①リモコンのdボタンを押す
②「防災・生活情報」を選択する

災害情報が確認できます

▼栃木県

リアルタイム雨量
河川水位観測情報

栃木県内の雨量・水位・ダム情報など

▼気象庁

防災情報、天気、キキクル(危険度分布)、大雨・大雪、地震・火山情報など

▼川の防災情報

カメラ画像、河川の観測水位、水位予測など

▼Yahoo! 防災速報

雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でお知らせします

自宅で避難生活を送る場合、まずは **水・食料・トイレ** の備えが必要です。

水 飲料水の備え

1人1日3リットルを目安に最低3日分、できれば7日分用意しておきましょう

必要な備蓄量を計算してみましょう

$$3 \text{ リットル} \times \boxed{\text{家族の人数}} \times 7 \text{ 日分} = \boxed{\text{必要量}} \text{ リットル}$$

食料 食料の備え



日常の備え

- 食材を少し多めに買い置きする。併せてレトルト食品や缶詰なども買い置きしておく(7日以上)
- レトルト食品や缶詰は古いものから定期的に食べる

災害時

- 停電した場合は冷蔵庫にある食料をクーラーボックスに移す
- 傷みややすいもの、要冷蔵のものなどを優先して食べる
- 普段から備えておいたレトルト食品や缶詰などを食べる

トイレ 災害時のトイレ対策

携帯トイレは1人1日5枚程度使うと想定して7日分ほど用意

$$5 \text{ 枚} \times \boxed{\text{家族の人数}} \times 7 \text{ 日分} = \boxed{\text{必要な数}} \text{ 枚}$$

家財被害対策

家庭にある物を使って家屋への浸水や流入を防ぐ方法(簡易水防工法)は、水深が浅い段階では有効です。

■浸水を防ぐ!

■ゴミ袋による簡易水のう
ゴミ袋などの大きめ(45リットル程度)のビニール袋を二重、三重に重ね、半分(20リットル程度)ぐらいの水を入れ、口をきつくしぼる。

■簡易水のうと段ボール箱等の併用

簡易水のうを段ボール箱に入れて連結させれば強度が増し、水のうを積み重ねることもできます。

■止水板

長い板、鉄板、畳、テーブル、ロッカーなどを出入口に設置します。

簡易水のうで逆流防止

豪雨のときなど、急激な水位の上昇により下水管が満水の状態になると、下水が逆流し、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などから、水が吹き出ることがあります。そのようなときは、ビニール袋に水を入れた「簡易水のう」を置くと、逆流を抑える効果があります。